

# 病院の力 実力

宮城編 5

医療機関ごとの治療実績を伝える「病院の実力」。

今回のテーマは「心臓外科手術」だ。県内の治療実績は、前回の「心臓カテーテル治療」に続き、仙台厚生病院（仙台市青葉区）がもっとも多かった。

同病院の心臓血管外科では、学会が認定した専門医3人を含む外科医5人が手術にあたる。手術の様子は、テレビ映像を通じて、待機する患者の家族に公開される。

狭心症や心筋梗塞の治療では、身体的負担の少ない心臓カテーテル治療を優先するが、高齢者や糖尿病などの持病があり血管が細い人は、閉塞した血管を迂回して血流を新たに確保するバイパス手術を適用することが多い。1999年の心臓血管外科開設以来、80歳以上の高齢者の手術は計150例を超えた。

同病院の柳沼徹副院長は「カテーテル治療が難

## バイパス手術に

## ミニポンプ方式

### 仙台厚生病院

## 心臓外科手術

しい人が対象となるので、心臓の冠動脈の太さが直径1cm以下の手術が増えています。昔に比べて高度な技術が必要です」と話

同病院の特徴は、バイパス手術で、心臓を動かしたまま、小型の人工心肺装置

を装着する「ミニポンプ方式」を基本とする

従来は、心臓を一時的に止めて人工心肺に完全に切り替えていたが、血液の塊ができて、脳梗塞を起こす危険性などがある。このため、最近では、人工心肺を使

わずに、心臓を動かしたまま手術する「オフポンプ」方式が増えている。ただ、オフポンプにも、手術中に血圧が急低下する恐れなどがあり、術中管理には細心の注意が必要だ。

一方、ミニポンプは、通常は人工心肺機能を抑えて、オフポンプ同様の手術を行い、緊急時には装置をフル稼働させて、患者の生命維持を支える。柳沼副院長は「以前は人工心肺を装着するが、しないかの二者択一だったが、ミニポンプは双方の利点を取り込んだ術式で、欧州では主流になっていきます」と説明する。

手術後は、2週間程度で退院できるといふ。

柳沼副院長は「心臓外科手術は、医師、看護師、臨床工学技士など大勢のチームワークが大切です。うちの病院では、毎朝の打ち合わせで、遠慮なく意見を出し合い、治療や看護に反映しています」と話す。同病院では、ほかの医療機関で治療を受ける患者さんの相談に応じる「セカンド・オピニオン」にも、積極的に対応している。

## 弁膜症の手術2種類

一覽表の総件数は、バイパス、弁膜症、胸部大動脈瘤、先天性心疾患など各

医療機関が実施した心臓外科手術の合計。読売新聞は、年50件以上（2006年）

の心臓外科手術を実施したと各都道府県の社会保険事務局に届け出た医療機関にアンケート調査を行った。

回答がなかった医療機関については、社会保険事務局へ届け出た件数を掲げた。ただし、この数字には胸部大動脈瘤手術が含まれていない。

傾向がある。心臓弁に異常がある弁膜症の手術は、大別すると2種類。悪くなった弁を人工弁に置き換える「弁置換術」と、弁の形を整える「弁形成術」だ。弁置換術では、耐久性に優れた炭素や金属製の弁を入れることが多いが、血液を固まりにくくする薬を一生飲み続ける必要がある。一方、弁形成術には、そうした煩わしさはない。表では、それぞれの実施数を掲載した。日本胸部外科学会によると、弁膜症手術の平均死亡率は3・7%ほどだ。

## 病院の実力「心臓外科手術」

医療機関別2006年治療実績

病院名	総件数	バイパス手術		弁膜症手術		
		件数、( ) はオフポンプ	死亡率	弁置換	弁形成	死亡率
仙台厚生	276	145(35)	0.7	62	15	0.0
県立循環器・呼吸器病セ	76	45(24)	0.0	25	15	0.0
東北公済	75	22( 1)	0.0	20	15	2.8
宮城 県立こども	75	-	-	1	0	0.0
仙台循環器病セ	68	30( 5)	0.0	24	20	0.0
国・仙台医療セ	62	22( 4)	0.0	16	2	0.0
東北厚生年金	97					
東北大	96					
福島 県立医大	164	30(27)	3.3	34	24	4.1
総合南東北	139	36(33)	2.8	44	20	2
星総合	97	20(14)	5.0	29	20	0.0
太田西ノ内	80	19(14)	5.3	37	13	0.0
県立会津総合	66	12(10)	0.0	39	13	0.0
いわき市立総合磐城共立	52	21(12)	4.8	11	3	7.7

「セ」=センター、「国・」=独立行政法人国立病院機構、未回答項目は「-」。アンケート未回答病院は社会保険事務局への届け出に基づく総件数のみ記載

バイパス手術では、内訳として「オフポンプ」方式の件数も示した。「死亡率」は、手術から30日以内に患者が亡くなった割合。日本胸部外科学会の調査によると、平均死亡率は約2・5%だ。重症患者を多く手術

\*全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は5月4日「不妊治療」の予定です。



集中治療室で患者の回復状態や看護時の注意点などについて打ち合わせる医師と看護師たち（仙台厚生病院で）